



あい 愛 逢

第
40
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島 1-20-21
電話 06-6493-1424
FAX 06-6493-1443
発行責任者 長谷川 達雄
発行日 2011年11月30日



「愛逢の家」二周年



11月3日（文化の日）「愛逢の家」の二周年記念行事が開催されました。

入居者、ご家族、ご遺族、理事、事務所職員、スタッフ総勢40人が狭いダイニングに集い、寿司詰状態の中、式典が始まりました。理事長の挨拶の後、入居者、ご家族の紹介があり、スタッフも一言ずつ抱負を述べました。
“豊さ”の乾杯の音頭で皆がグラスを合わせ、二周年を祝いました。



皆でお祝いの様子

前夜11時までかかって仕込んだ料理班の心のこもった料理が処狭しと並び、集まった皆さんの目と舌を喜ばせてくれました。
11月だというのに小春日和のように暖かく、急きょ庭に出てガーデンパーティーをすることにしました。開放感があり、初対面の



「愛逢の家」で記念写真

方も、旧知の仲のように話も弾み箸もすすみました。この2年間で5人の方をお見送りさせていただき、死というものが特別なものではないことを学ばせていただきました。命あるものは必ず公平に死がある。死ぬまでの間どう生きるか、安心して死を迎えられるようどう支えていくか、「愛逢の家」らしい質の高いターミナルケアを模索し、続けていくことが私達スタッフの使命だと心新たにしました。

<大森 視也子>

老いを楽しく生きるために一身近なトラブルを考える

9月から毎週火曜日に、愛逢事務所で相続、遺言、成年後見の相談を始めています。これまでにさせていただいた相談の中では、相続、遺言に関するものが、各1件ずつです。それ以外は金銭トラブルが主なものです。件数を見る限りでは、この活動が知れ渡るのにはもう少し時間があるのかなという感じです。

そこで、身近なトラブルとして、相続や遺言、成年後見のことを、皆さんに関心を持っていただき、これから一緒に考えていくため

に連載を始めることにしました。

平均年齢が80才（女性）を越えた今、これまでの人生50年とか60年といわれた頃の「老後」とは全く違った定年退職後の永い「老後」、年金生活を生きる時代に入っています。

これからの20年、30年をどこで、どう生きるか。トラブルに巻き込まれることなく人生を全うすることができるのか。次回から始まりです。

<長谷川 達雄>

NPO法人愛逢「助け合いネット」(仮称)の取組み



2010年の8月9日に第一回目の「助け合いネット(仮)」がスタートし、今日まで2ヶ月に1度のペースで開催しています。

この会には、愛逢の理事や職員はじめ、関心のある個人が参加し、「園田地区をまず知る」ことから始めました。知っているようで案外と知らないことも多く、地域って面白いなと感じることもしばしばです。園田地域にはどんな地域資源があるのか、皆さんも興味がわいてきませんか。

この「助け合いネット(仮)」では、そんな地域に対しての興味関心を寄せあつめ、愛逢の掲げる「つなぎあい支えあう地域をめざして」を形にしていくために活動を継続して

きました。愛逢で実践してきた助け合いの活動や事業は、そこでの援助だけにとどまらず、色んな人が地域で暮らせるような仕組みを、みんなで手を取りあってつくっていくことが大切になります。

「助け合いネット(仮)」では、地域での仲間を増やしつながっていきながら、この度、小中島地区で尼崎市高齢者見守り安心事業のモデル指定を受けることとなりました。これは、町会が中心となり取組みますが、そこに協働する形でこれから活動が始まります。

新しい取り組みが始まる中で、「愛逢らしさ」を発揮できるような関わりを意識しながら、いろいろなアイデアを出し合い、みんなが暮らしやすい地域づくりをすすめていけたらと思います。今後の動きにも皆さん関心を寄せていただけたらと思います。

〈是澤 宏美〉

おでかけ隊に参加して



椎茸狩り

11月22日(火)参加者4名、ボランティア5名で三田まで電車とバスを利用し、椎茸がりやバーベキューに行ってきました。

天候にも恵まれ、とれたての椎茸は、想像以上に美味しく楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今後も年2回「おでかけ」を企画しますので、皆様も機会があれば、是非ご参加してください。

〈磯本 味沙〉



椎茸のバーベキュー



参加者・スタッフの皆さんで記念撮影

♪♪リーダー研修が行われました♪♪

9月19日(月)・11月6日(日)の2回に分けて、愛逢職員を対象に『リーダー研修』を行いました。『会議の在り方と組織運営』というテーマのもと、それぞれが想う“NPO”としての役割や運営していく上で大切

だと思ふ事を意見交換したり、他のNPOの運営体制等を学びました。同じ愛逢で活動する職員でも、多様な想いがあり、これからさらに職員一丸となって活動していくための貴重な研修となりました。 <山下 直子>



NPO法人愛逢職員たちのリーダー研修



於 虹のふれあいセンター

第8回水辺まつり大盛況

台風の影響で開催が心配された第8回水辺まつりでしたが、9月24日秋晴れのもと藻川のほとりに約3,000名の子供達の笑顔がはじける楽しい「まつり」となりました。

川の流れが急なため、残念ながら、イカダ・カヌー、ボートなどの水辺の遊びは中止せざるを得ませんでした。クイズラリー、フリーマーケット、模擬店、舞台コーナー等々、どこも大盛況。また、実行委員会では、今回からプログラム、パネル展示、クイズラリー、紙芝居などの中に「猪名川・藻川にきれいな流れをとりもどそう」という水辺まつりの大目的の実現にむけた様々な工夫を取り入れてきました。



第8回「水辺まつり」の様子

愛逢は、駐輪場の整理係を担当しました。炎天下、あふれかえる自転車の整理に汗を流していただいたスタッフの皆さん、ご苦労様でした。

<滑川 清文>

ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為、
仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

配食サービスの利用者の声



当年にとって〇歳、血液検査等異常ナシ、配食弁当のおかげかな？配食のある日は買い物にも行かなくてすむし、助かっています。量が少ないかなあと思っても、食後は満足感で一杯です。

＜庄本 千代子（配食初期から利用）＞



一人暮らしなので、買い物にもなかなか行けず、どうしましょう？でも配食弁当があるから、生きてゆけます。



＜藤井 小夜さん（91歳）＞

知ってますか？

第5回 自立支援ってなに？

私達ホームヘルパーは自立支援利用者のケアにも対応しています。

自立支援とは、障害を持っておられる人達が自分らしく生活していける為の支援です。

私もそのケアに入っています。

例えば、家事、移動支援等です。

移動支援として、プールへ行き一緒に水中ウォーキングしたり、作業所へお迎えに行き、家族の方が帰宅するまで、ショッピングしたり、美術館・科学博物館・京都観光に行ったりと幅広く利用することができます。

＜長嶺 弘美＞

年末年始の休業のお知らせ

平成23年12月30日（金）～平成24年1月3日（火）まで
当事業所は、お休みさせていただきます。

ホット待夢



小学5年生の娘が4泊5日で、美方町自然の家に行ってきた。都会ではなかなか学ぶ事の出来ない林業体験・キャンプファイヤー・飯盒炊爨などとてもいい経験をしてきました。自然にふれ、いつもの生活では出来ない事を学び、お友達と協力しあい楽しくすごせたようでいい思い出が出来てよかったです。私は娘が自然学校に行っている間、少しのんびりと過ごせました。



＜ピンクの成ちゃん＞

東日本復興支援尼崎ネットワークへの寄付金

合計金額は、NPO法人愛逢から、

14,978円寄付させていただきました。



♪♪皆さんからのご意見、ご感想をお聞かせ下さい♪♪